

【教科】 【科目】	【国語科】 【言語文化】	1年	2単位	教科書	改訂版言語文化 (数研出版)	副教材等	なし	履修対象・ 使用教室 等	1年生 各教室
教科・ 科目の 目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 （２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 （３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。								
評価 の 観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。			「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。			言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。		
評価 方法	＊単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、〔A：「十分満足できる」状況 B：「概ね満足できる」状況 C：「努力を要する」状況〕とする。 ＊単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総合的な評価を行ったものを「５段階の評定」とする。								
評価 資料・ 評価 比重 〔100点換算〕	評価資料等		予定回数・内容等			知識・技能		思考・判断・表現	
	単元テスト		単元ごとに１回～数回			100		40	
	学習作文		授業ごと					15	
	音読・暗唱		単元ごとに数回					15	
	発表		単元ごとに数回					15	
	ノートづくり		単元ごと					15	
	〔観点別配分％〕		（３観点の比重を％で示しています）						
月進行 〔計画〕	【単元名】 学習項目名	配当 時間 〔計画〕	学習内容・目標（到達点） など			主な評価資料		評価の重み付け〔◎○〕	
								知・技	思・判・表
									態度
4 5	(古文) 宇治拾遺物語	14	・音読を通して、歴史的仮名遣いや古文の表現に慣れる。 ・基本的な古文単語の語彙を増やす。 ・古文に描かれている人物の心情を理解する。			単元テスト	◎	◎	
						学習作文		○	◎
						音読・暗唱		○	◎
						発表		○	◎
						ノートづくり		○	◎
6 7	(古文) 今昔物語集 (近代小説) 羅生門	10	・近代の小説を読み、描かれている人物の心情を理解する。 ・翻案作品と原作を比較する。			単元テスト	◎	◎	
						学習作文		○	◎
						音読・暗唱		○	◎
						発表		○	◎
						ノートづくり		○	◎
8 9	(漢文) 入門 故事	11	・漢文の訓読に慣れる。 ・再読文字・助字などについて理解する。 ・故事成語のもとになった簡単な漢文を読み、内容を理解する。 ・故事成語の語彙を楽しみながら増やす。			単元テスト	◎	◎	
						学習作文		○	◎
						音読・暗唱		○	◎
						発表		○	◎
						ノートづくり		○	◎
10 11	(古文) 竹取物語	9	・古文に慣れ、登場人物の心情を理解する。 ・当時の人々の暮らしや文化について理解を深める。			単元テスト	◎	◎	
						学習作文		○	◎
						音読・暗唱		○	◎
						発表		○	◎
						ノートづくり		○	◎
12	(漢文) 史伝 思想	13	・春秋戦国時代の史伝や、思想を述べた文章を読み、内容について理解する。 ・漢文の様々な句法について理解を深める。 ・漢文が日本の言語文化に与えた影響について考える。			単元テスト	◎	◎	
						学習作文			

学習の アドバイス	・単元ごとにテスト、あるいは課題を出します。作文や、ノートの提出もあります。日々の授業の取り組みをもって評価しますので、授業の時間を大切にしてください。 ・3年間の基盤になる科目です。取り組みを大事にしてください。 ・何度も繰り返し読み、古文や漢文などの文章に慣れましょう。
----------------------	---